



国際協力

2023.4
No. 75
春号

JICA 駒ヶ根

Welcome to the renewed KTC!

リニューアルした駒ヶ根訓練所へようこそ!

訓練所から世界が見える「知ろう!学ぼう!感じよう!」

2023年度 駒ヶ根訓練所施設訪問について

2021年度の訓練再開より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣前訓練期間外での施設訪問プログラムを実施していましたが、2023年7月中旬頃より、訓練期間中のプログラム再開を予定しています!

また、施設見学にお越しいただいた皆さまには更に学びを深めていただけるよう、この1年で訓練所内の展示や体験コーナーを新設・リニューアルいたしました!

新設&リニューアル

- ◆ 緒方貞子氏の歩みを学ぶ、ヒストリー・メモリアルギャラリーと人間の安全保障パネル展示
- ◆ JICA海外協力隊の歴史を振り返る「歴史展示コーナー」をリニューアル
- ◆ VRルームでJICA海外協力隊の派遣国を体験!
- ◆ 訓練所から世界へトリップ? ロビーで新体験!



緒方貞子氏ヒストリーパネル



訓練所ロビーから世界へ!



VR ルーム、キルギスのバザールで隊員とお買い物体験!?

国際協力やJICA海外協力隊について、楽しく体験しながら一緒に学びましょう!

ご希望の時期によって実施可能な内容や時間帯が異なります。詳細はJICA駒ヶ根HPをご確認くださいませ。



***** 2023年度 派遣前訓練予定スケジュール *****

- 1次隊：4月17日～6月15日
- 2次隊：7月17日～9月14日(予定)
- 3次隊：10月16日～12月14日(予定)
- 4次隊：1月15日～3月14日(予定)

2023年2月末のJICA海外協力隊派遣状況は、派遣国数65か国、派遣中人数866名となりました。今年度も多くの隊員を任国に送ることができるよう、スタッフ一丸となり充実した派遣前訓練を実施してまいります。

2023年度1次隊は113名が入所予定です!

青年海外協力隊長野県OB会の皆さんが外国人実習生との交流イベントを開催！
小林OB会長よりイベント開催の経緯や思い、当日の様子を報告いただきました！

「ハヶ岳ワールドもちつき祭」開催のご報告

～外国人実習生に楽しい思い出を～

青年海外協力隊長野県OB会 小林 恭介
(平成8年度1次隊/エクアドル派遣/職種：野菜)

私が外国人実習生に対して関心を持ったのは、2020年8月小諸市内の畑で、スリランカ人とタイ人の実習生が落雷の被害にあったニュースがきっかけでした。「なぜ彼らは日本まで来て亡くならなければいけなかったのか？」「日本や日本人に対して、どんな感情を抱いていたのだろう？」と考えました。

長野県内では、約2,200人(2022年9月現在)の実習生(技能実習生、特定技能、特定活動)が農作業に従事しています。特に高原野菜の産地や大規模な農業経営は、実習生なしには成り立たないとも言われています。私は仕事柄、県内有数の野菜生産地帯である川上村や南牧村へ出かけることがあり、小諸市の一件以来、畑で働く実習生(タイ・ベトナム・インドネシア・フィリピンなどの方々)を見ては、自然に彼らの姿を追うようになりました。

そのような中、南牧村でイチゴのハウス栽培に取り組む菊池辰夫さんに出会う機会を得ました。菊池さんの農場でも6名の実習生が働き、全員がフィリピン人でした。実習生と接した第一印象は、彼らの表情がとても明るいこと、そして一番驚いたことは、彼らが菊池さんのことを「お父さん、お父さん」と呼び、菊池さんも彼らのことを「うちの子たち」と話していることでした。

菊池さんとの会話が弾んだ私は、思わず「実習生のためのイベントを一緒にやりませんか」と呼びかけると、菊池さんも「いいね！やろう！」と返してくれたのです。

2022年12月11日(日)に南牧村広瀬地区の公民館施設「まなび舎」で開催された「ハヶ岳ワールドもちつき祭」は、フィリピンからの実習生34名と関係者の約90名が参加するイベントになりました。

企画内容は、①餅つき大会(餅つき体験と餅料理作り) ②ポッチャ交流会 ③オリジナル缶バッジ作り体験でした。最初は緊張気味だった実習生たちも、当日参加した15名の協力隊OVが間に入り、場を和ませてくれたことで、会場は賑やかで楽しい雰囲気になりました。

実習生にとって餅つきや、つきたての餅を食べるのは初めての体験のようでしたが、日々体を鍛えているためか、杵の扱いもすぐにマスターし、餅料理は「とても

美味しい！」と話してくれました。

ポッチャはリーグ戦を行い、実習生主体の各チームへ協力隊OVをサポートとして配置、一緒に作戦を練り、喜び合う姿がとても印象的でした。各チームには南牧村から順位ごとに景品の授与もありました。

本イベントの一番の目的は、「実習生たちに日本での楽しい思い出を増やしてほしい」ことでしたが、イベント後のアンケートで9割以上の方が満足と回答をくださり、少しはその目的も達成できたのではないかと思います。

開催にあたっては、多くの方々と連携し、ご協力をいただきました。菊池さんをはじめとする実習生受入農家さん、きめ細かいサポートや豚汁・餅料理などを準備くださった地元住民の方々、臨機応変に対応くださった南牧村役場の皆さん、実習生監理団体の国際農業者交流協会、JICA東京/駒ヶ根、JOCA、ポッチャ運営を担当くださった東御市「みんなの健康×スポーツ」実行委員会、そしてフィリピン大使館からも大使館員がお土産持参で来場され、実習生へ激励の挨拶をくださいました。この場を借りてお礼を申し上げます。

今年1月に実施した地元の皆さんとの反省会において、12月に第2回を開催することになりました。次回は少し規模を大きくし、実習生たちがイベント運営側に関わるスタイルに挑戦したいと考えています。



初めての餅つき



ポッチャは大白熱！



南牧村の「みな福」もかけつけ、参加者で集合写真！



自宅訪問した初産婦の友人家族



母親学級の様子

Bonjour! (こんにちは) 私はアフリカのガボンという国で助産師をしています。ガボンは、赤道直下であり国土の80%が森林、高温多湿の熱帯雨林気候で、1年中暑い国です。

かにリスクが高いことであるかを知り、怖くなる事もあります。しかし、ガボンの助産師も知識と誇りを持っています。そんな同僚と協力し32週以降の妊婦さんを集め、出産準備の話をしたり、産後健診の受診率をあげる活動をしたりしています。貧富の差が激しく、もどかしくなることもありますが、自分の目でみて考える大切さを感じています。

活動は母子保健センターで妊婦健診や母親学級、出産後の健診、乳幼児健診を行っています。平均寿命が66歳のこの国では、若年妊娠や多産、マラリアという蚊による病気や、食料の種類が少ないため栄養不足・貧血など多くの問題があります。妊婦健診をしているとヘモグロビンが6.5g/dl(11.0g/dl以下が貧血)の人もおり、お産がい

活動は母子保

ガボン人はとてもフレンドリーで明るく、知らない人も友達と呼び、「よ! 友よ」と沢山声をかけてきます。また、ガボン人の初産婦の友人に「困っていることない? 大丈夫?」と聞いたら、「疲れている」と言われました。きっと日本人であれば育児が大変でも「大丈夫」と一人で抱える人が多いと思います。感情に正直で家族思いのガボンの人たちと一緒にいると、私は自分の家族や周りの人のことをどれだけ理解して、大切に出来ているのだろうかと考えさせられることが非常に多いです。

シリーズ



みんなで作ろう! 協力隊派遣国 世界のごはんレシピ

Vol.4

カオマンガイ (タイ料理)

鶏肉の炊き込みごはん



材料(2~3人分)

- A
- 鶏もも肉…1枚 (250g)
 - 水…3カップ
 - 固形スープ…1個
 - 米…1.5合
 - しょうが(薄切り) …10g
 - にんにく(包丁で押しつぶす) …2かけ
 - 塩…小さじ1/2

- B
- しょうが(みじん) …15g
 - にんにく(みじん) …15g
 - みそ…大さじ1
 - 砂糖…大さじ2・2/3
 - 醤油…大さじ2・2/3
 - レモン汁…小さじ2
 - オイスターソース…大さじ1
 - 鶏肉の煮汁…大さじ4
 - 赤唐辛子小口…小1~2
 - 長ねぎ(みじん) …10g
 - きゅうり・パクチーお好みで

作り方

- ① 鍋にAを入れて火にかけ、煮立ったら鶏肉を加えて8~10分煮る。鶏肉を取り出し、煮汁は粗熱をとる。
- ② しょうがは薄切りにし、にんにくは包丁の腹で押しつぶす。
- ③ 米は洗って炊飯器に入れて②と①の煮汁360ml、塩を加えて炊く。
- ④ ③が炊き上がったら①の鶏肉をのせ10分程蒸らす。鶏肉を取り出し1cm幅くらいにカットする。
- ⑤ 盛り付け皿にご飯、鶏肉を盛り、きゅうりやパクチーを添える。
- ⑥ Bを混ぜ合わせたタレを作り別の器に入れて添える。ねぎのみじんはタレの上のせる。食べる時には鶏肉にタレをかけて、ごはん混ぜる。

食堂スタッフワンポイントアドバイス! 🙌

- ふっくらお肉にコクのあるソース、肉の煮汁で炊いたご飯が絶妙です。
- みそをタオチオにかえるとより本格的!
 - ・タオチオ…大豆が原料のタイの調味料(日本の味噌より水分が多い)

～ 2023年 JICA 海外協力隊 春募集のお知らせ～

■2023年 春募集期間

2023年5月19日(金)～7月3日(月)

日本時間 正午締切

■応募資格

生年月日が1953年7月5日から2004年1月2日

までの日本国籍を持つ方

※短期派遣募集もごさいます。

■長野県内募集説明会

5月22日(月) 19時～21時

オンライン説明会 駒ヶ根訓練所

6月4日(日) 14時～16時

松本市 信州メディアガーデン1階ホール

6月17日(土) 14時～16時

長野市 県立長野図書館3階 信州・創造ラボ

◇当日は県内出身協力隊経験者の体験談をはじめ、合格から派遣までの流れ、帰国後の進路など様々な情報収集をすることができます。

◇JICA長野デスクと駒ヶ根訓練所では、個別相談も随時受付中です!

詳細はJICA海外協力隊HPよりご確認くださいませ。

◇会場でお会いできるのを楽しみにしています!

◎2023年JICA

海外協力隊長期・短期派遣の

募集日程詳細

はこちらから!



2022年度4次隊(4名)

長野県出身JICA海外協力隊員

行ってきます!!

青年海外協力隊



井上 舞 さん (上田市)



派遣国：インドネシア
職 種：日本語教育
日本語教師として、バリ島にある国立大学の日本語学科で日本語と日本文化指導の技術支援を行います。観光業が盛んなバリ島で、一人でも多くの学生が観光や日系企業への就職など、希望の進路に進めるような学習環境の構築を目指します。

海外協力隊



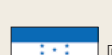
加藤 洋子 さん (下諏訪町)



派遣国：エルサルバドル
職 種：防災・災害対策
首都の市役所市民防災課に配属され、住民の方を対象とした防災教育や災害対策などを行う予定です。エルサルバドルも自然災害がとても多い国です。被害を減らすために現地の人々と共に精一杯取り組んでいます。



中谷 あい野 さん (原村)



派遣国：ホンジュラス
職 種：環境教育
市の財団に所属し、小・中学生や地元市民に向けた環境教育活動を行ってきます。前任者はおらず手探りでスタートですが、現地の方は何を求め、日本人の私の目にどう映るのか、そして私に何が出来るのか、五感をフル稼働させて活動していきます!

日系社会海外協力隊



公平 千鶴子 さん (信濃町)



派遣国：ブラジル
職 種：料理
サンパウロ州・グラーウリオス市の特別養護高齢者施設で日本食や介護食献立の提案、調理を担当します。入居者の方は殆ど日系の方です。皆さんに喜んでいただける食事を提供出来るように活動していきたいと思ひます。

スタッフ紹介



業務課長 井上 啓

昨年11月に着任しました。これまで防災や水道分野の業務が長かったのですが、約20年ぶりの協力隊事業(元・中東/アフリカ国担当)、また初めての訓練所勤務ということで、日々刺激を受けながら業務に取り組んでいます。業務外では、素晴らしい自然に囲まれた駒ヶ根ライフも是非とも満喫したいと思ひ込んでいます!どうぞ宜しくお願い致します。



診療室 鈴木 真奈美

平成2年度2次隊、ポリビアの看護師隊員です。その後、ニカラガ、ポリビア、グアテマラの在外健康管理員として勤務いたしました。前職は各空港・港の検疫所で、日本には無い感染症の水際対策を行いました。訓練生の皆様が健康で訓練を終えて派遣される為のお手伝いをしたいと思ひています。どうぞよろしくお願い致します。

2023年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

2023年度 1次隊訓練予定：113名

(2022年度 4隊次合計：222名)

訓練生のリアルな声をお届け!
～訓練生日記続々更新中!～

JICA 海外協力隊の派遣前訓練中の訓練生が、協力隊参加のきっかけや、訓練の様子、1日の楽しみや、同期の仲間たちについてなどを「訓練生日記」として発信しています。皆さま是非ご覧ください!



発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
https://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp までメールでご連絡ください!